

あおぞら

行方市 社協だより

No.46 2017.9.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲403番地
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



のびのびサポート事業（詳細記事はp 9）

P12

善意銀行・編集後記

P10-11

お知らせ

P9

のびのびサポート事業
ビックリ・発見・夏キャン
プ事業

P8

第2回行方市老人クラブ
連合会 スポーツ大会

P6-7

福祉な声
グループホーム
いもやホーム

P5

いきいき長寿者紹介
佐山 さと子さん
(行方市手賀在住)

P2-4

平成28年度事業報告
平成28年度決算報告

目次

平成28年度事業報告

～安心して暮らせる福祉のまちづくり～を目指して
主に次のような事業を実施いたしました

会員数

- ・一般会員 8,118世帯
- ・賛助会員 256世帯
- ・特別会員 130事業所

善意銀行運営事業

・市民皆様からの温かい善意の寄付金や物品をお預かりしています。寄付された金品は寄付者の意思に添った福祉事業等に使用させていただきます。

広報啓発活動

・社協だより「あおぞら」を発行しました。(6、9、12、3月)

相談事業

・弁護士による無料法律相談を実施しました。(毎月2回 相談件数63件)

高齢者福祉事業

●高齢者サロン事業

・高齢者が生涯健康で生きがいを持って社会活動できるよう健康・生きがい作りに関する事業及びリーダーの育成並びにひきこもり防止や交流事業を実施しました。



元気で～さ～びす館

(2ヶ所 計23回 延べ286名参加)

●ふれあい広場事業

・健康体操やレクリエーションをとおし、高齢者の健康作りを目的として実施しました。(3ヶ所 計30回 延べ526名参加)

●元気で～さ～びす館

・高齢者のひきこもり予防及び健康作りを通じた交流を目的として実施しました。(3ヶ所 計81回延べ1,272名参加)

障害児(者)福祉活動事業

●ビックリ・発見・夏キャンプ

・協同生活を体験し、社会で暮らしていくための知識等を学ぶことを目的に実施しました。(参加者180名 協力 アール医療福祉専門学校)

●のびのびサポート事業

・長期休暇中の障害児のストレス軽減をはかるとともに、地域での生活の充実と交流を推進し、心身の発達と生活の豊かさを醸成することを目的として実施しました。(9回延べ44名参加)



のびのびサポート事業

●こころのサロン

・精神疾患がある方を対象に、レクリエーション等を通じて社会参加の支援を実施しました。

児童福祉事業

●子育てサポート事業

・子育てサポーター(子育てを支援する方)と利用者(子育てを支援を必要とする方)の相互援助活動を実施しました。(保育サービス提供時間218時間)

母子・父子福祉事業

●ひとり親家庭ふれあい遠足(5家族参加)
●ひとり親家庭新入学児童祝品贈呈事業(5件)

ボランティア活動推進事業

●ボランティアセンター事業

・ボランティア活動を希望される方と必要としている方の調整等を行いました。(団体登録31団体 690名 個人登録131名 依頼件数54件 派遣延べ人数380名)

●手話教室の開催(3ヶ所 計102回)

●児童・生徒へのボランティア普及活動

・高齢者や障害者への正しい理解促進のために学校等での各種福祉体験学習を実施しました。(計3回実施)

●運営委員会の開催

・各種ボランティア団体等への補助金審査を行いました。



福祉車両貸出事業

生活福祉資金貸付事業

(茨城県社会福祉協議会より事務委託)
 ●低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図る目的で実施しました。(相談件数47件 内貸付件数6件)

福祉団体への支援

・老人クラブ連合会・ボランティア連絡協議会・身体障害者福祉協議会・遺族会等の事務局運営支援を行いました。

在宅福祉サービス・在宅生活支援事業

●福祉機器貸出事業
 ・疾病やケガ、障害者及び高齢者の

方などで一時的に車いす等の福祉機器が必要となった方に貸出を行いました。(102件)

●福祉車両貸出事業

・障害者や高齢者及びその家族やボランティアの方に車いすごと乗り降りできる福祉車両の貸出を行いました。(164件)

●訪問歯科診療機器貸出事業

・歯科医への訪問診療機器の貸出を行いました。(4件)

●在宅福祉サービスセンター事業

・高齢者や障害者(児)に対しボランティアの協力を得て、日常生活における援助等を実施しました。(利用件数 計2,097件 利用時間延べ3,571、5時間)

●在宅言語リハビリアドバイス事業

・病气やけがにより言葉によるコミュニケーション能力の低下した方に対して、能力回復を目的として言語聴覚士による訪問指導を実施しました。(12回 延べ52名)

●軽度生活援助事業

・在宅のひとり暮らし高齢者に対し、軽易な日常生活上の援助を実施しました。(利用者数 延べ103名 利用回数 計103回)

●日常生活自立支援事業

・自分ひとりで金銭の管理や支払い等が困難な方に対して、福祉サービスの利用援助、代行、利用料の支払いなどを実施しました。(相

談件数13件 利用者数5名)
 ●給食サービス事業
 ・在宅の高齢者等で食事作りが困難な方に、栄養のバランスを考えた食事をご自宅にお届けするとともに、声かけや安否の確認をしました。

麻生地区延べ1,764食

協力：麻生地区給食ボランティア

北浦地区延べ1,433食

協力：ボランティアグループさわやか

北浦地区食生活改善推進員

玉造地区延べ2,193食

協力：玉造地区給食ボランティア

介護保険事業

●居宅介護支援事業

・指定居宅介護支援事業所の運営を行い、介護支援専門員(ケアマネージャー)によるケアプランの作成、介護サービス等に関する相談・説明、サービス事業者との連携・調整、介護保険等の申請代行及び認定調査を実施しました。(プラン作成数 介護1,904件 予防353件 介護保険認定調査134件)

●訪問介護事業

・指定訪問介護事業所の運営を行い、ホームヘルパーの派遣、サービス内容の相談を実施しました。(利用者数 延べ12,565名 派遣時間 延べ13,713時間)

障害福祉サービス事業

●居宅介護サービス事業

・指定訪問介護事業所(総合支援法)の運営を行い、障害者(身体・知的・精神)への身体介護、家事援助サービスを実施しました。(利用者数延べ4,130名 派遣時間 延べ5,140時間48分)

●障害者移動支援事業

・屋外での移動が困難な障害者等に対し、ホームヘルパーを派遣して外出のための移動を支援しました。(利用者数 延べ9名 派遣時間 延べ27時間57分)

●計画相談支援事業

・障害福祉サービス等の利用計画を作成し、その方にあつたサービスの提供を支援しました。(利用者数84名)

●障害者地域活動支援センター事業

●就労継続支援B型事業

・障害のある方に対し、働く場所と創作活動の機会を提供し、知識・能力向上のための支援を実施しました。(利用者数 計27名 月々金9時30分～15時 作業内容 公園清掃、内職作業、生活訓練、創作活動等)

相談事業

●在宅福祉相談
 ・医療機関及び福祉施設等を退院・退所後の在宅生活の相談支援を行いました。

共同募金事業

●赤い羽根共同募金運動
 ・10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施され、行方市でも個別募金・学校等募金・イベント募金・設置募金・職域募金・



赤い羽根共同募金運動

街頭募金を実施しました。(募金総額4,671,198円)
 ●歳末たすけあい運動
 ・市内全域において、高齢者世帯・障害者世帯の方々を対象に、シルバー人材センター等の皆様の協力

新公共交通システム事業

・利用者の予約により目的地まで乗合で送迎するタクシー(デマンド型乗合タクシー)の運行を実施しました。(利用者登録数4,073名利用者数 延べ15,978名)

を得て家事援助サービスを実施しました。(掃除1件 除草等45件 障子張り73件 網戸張替42件 窓掃除46件 廃棄処分20件)



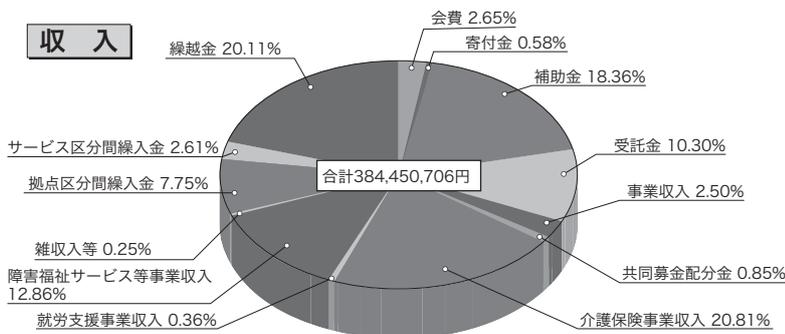
デマンド型乗合タクシー



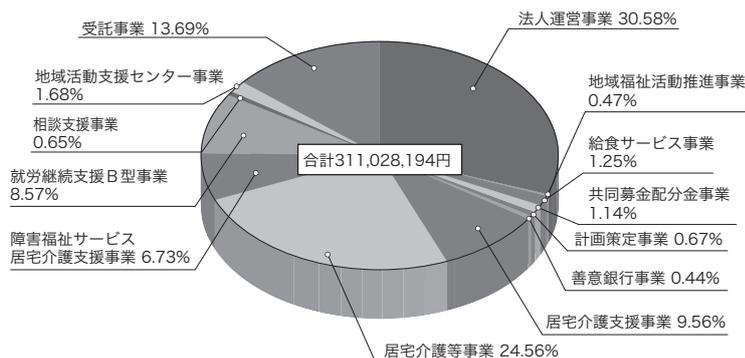
乗合タクシー予約センター

平成28年度決算報告

収入



支出



(単位:円)	
会費	10,186,000
寄付金	2,247,593
補助金	70,573,100
受託金	39,597,345
事業収入	9,626,961
共同募金配分金	3,263,711
介護保険事業収入	79,995,654
就労支援事業収入	1,402,210
障害福祉サービス等事業収入	49,430,600
雑収入等	958,633
拠点区分間繰入金	29,813,105
サービス区分間繰入金	10,041,707
繰越金	77,314,087
合計	384,450,706
法人運営事業	95,103,907
地域福祉活動推進事業	1,476,316
給食サービス事業	3,900,292
共同募金配分金事業	3,536,642
計画策定事業	2,075,820
善意銀行事業	1,374,855
居宅介護支援事業	29,731,981
居宅介護等事業	76,400,075
障害福祉サービス居宅介護事業	20,926,076
就労継続支援B型事業	26,651,423
相談支援事業	2,026,866
地域活動支援センター事業	5,240,804
受託事業	42,583,137
合計	311,028,194

いきいき長寿者紹介

佐山さと子さん 92歳(行方市手賀)



佐山さと子さん

取材に当たり、私ごとですが、最後に佐山さんにお会いしたのは10年ほど前になりました。それ以後まったくお見かけすることもなく今に至りま

した。このコーナーで佐山さんと子さんをご紹介することに決まり、取材当日、私はどきどきしながら佐山さん宅に伺い玄関越しに声をかけました。

すると10年前と変わらぬ佐山さんが元気な声で「暑いからどうぞどうぞ」と迎えてくれました。

現在、佐山さんは息子さん夫婦と一緒に暮らしています。日々、大好きなカラオケ、30年余続けているゲートボール、そして、毎日3000歩を目標に散歩と体調を考えながら、家族に迷惑をかけないようにと趣味を楽しみ忙しい毎日を送っているようです。これも、病気もせず元気だからこそできることだと思います。

佐山さん自身、3年前に大腿骨骨折をして100日ほど入院したときのこと、「毎日お嫁さんが見舞いに来てくれたのよ、ありがたかった」と、また「今は、毎朝6時半ころ起きるんだけど、朝ご飯食べられないほど作ってくれます。手早だし作るのが好きなんだね、ありがたいね」と、さらに「二人には健康でいてほしい」と、息子さん夫婦に対しての感謝の気持ちが伝わってきました。

趣味のカラオケについて聞いてみると「手賀学習センターでむつみカラオケ会・故千葉

弥四郎さんの後を引きついで千葉カラオケ会・カラオケ愛好会と月3回、みなさんにお世話になりながら頑張つてやっていますよ。」と、たくさんのお楽しみを持つことによつて幸せだと感じるし、若い人との交流もできるのでとても嬉しいとのこと。これが、佐山さんの元気の秘訣だと思いました。

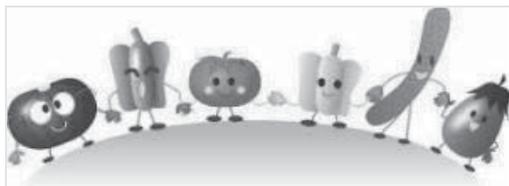
いろいろお話を聞く中で、最後に心がけていること・目標はと聞いてみると、「ピンピンコロリ、施設にはいかない、病気はせずに健康第一!!みんなに迷惑をかけない」と語ってくれました。

時折、笑顔を見せてくれながら、最後まで、こちらの質問に丁寧に答えてくださった佐山さん。これからもお体に気を付けて元気にお過ごしください。



福祉な声

私たちの住む地域には、様々な福祉の施設があります。今回は、障害者グループホーム「いもやホーム」でサービスを提供している管理者や世話人の方々、利用者の方にお話をお伺いしました。本当の家族のような暮らしがあり、また自己の確立もできる。それが、グループホームの姿であり目標でもあります。



障害者グループホーム **いもやホーム**

現在、いもやホームでは男性 3 人の方が共同生活をしています。昼間は、みなさん障害者就労支援事業所**いもや**で作業を行っています。

休日には、趣味を楽しむ人、買い物に出かける人それぞれが自分に合った楽しみ方をしています。

住所：行方市四鹿 8 1 6 - 7

電話：0 2 9 9 - 7 3 - 3 8 3 8



ホームの愛犬と

ちょうどホームの世話人の募集があったことでもあります。福祉の仕事に関心があったからです。

世話人 Yさん

この仕事を始めたきっかけは

平成 2 2 年当初、市内にはグループホームはなく、まずは、就労支援事業所を開所してからと思い、その後グループホームの仕事を始めました。

管理者 Kさん

援助するということを難しく考え不安もありましたが、手助けを通して自己成長につながればと思い始めました。

世話人 Nさん

日々の仕事の内容

利用者の相談にのったりできない部分の手助けをしています。

サービス管理責任者 Tさん

利用者の為の食事作りや掃除など、規則正しい生活を送る為のお手伝いと日常生活の支援をしています。

世話人 Yさん、Nさん

利用者が、自分の家として楽しく生活できるよう笑顔と心配り、そしてコミュニケーションを大事にしています。利用者喜んでもらえるとうれやいを感じます。

世話人 Yさん

誕生日などイベントには、行事色をだした食事を提供しています。また、安心して暮らせる居心地の良い場所になってほしいと思って毎日仕事をしています。

世話人 Nさん

心がけていること、やりがいや魅力は

利用者の方がたと気持ちに通じ合うように心がけています。

サービス管理責任者 Tさん



食後のひととき



夕食メニュー

誰でも気軽に参加できる交流会・行事等がたくさんあればと思います。

要望等がありますか。

～利用者さんの声～

- * 世話人さんの作ってくれる唐揚げが美味しくて大好きです。(I さん)
- * 料理をリクエストするとそれに答えて作ってくれるのでうれしいです。(T さん)
- * ポテトサラダが大好きです。(T さん)



誌面に掲載した以外にもたくさんのお話をしていたきました。そして取材を通して世話人の方々の利用者及び障がい福祉に対する思いを感じました。これからのますますのご活躍をご期待申し上げます。お忙しい中、ありがとうございました。

第2回行方市老人クラブ連合会 スポーツ大会を開催

6月29日（木）行方市北浦第1グラウンドにて、第2回行方市老人クラブ連合会スポーツ大会が、約200名参加のもと開催されました。

種目は、クロッケー、ゲートボール、ペタンク、輪投げを行ない、日ごろの練習で鍛えた技術とチームによる団結力を発揮し、優勝を目指し白熱した試合が繰り広げられました。

さらに、7月5日（水）、高須崎公園で、麻生・北浦・玉造の各地区予選を勝ち抜いた、上位30名によるグラウンドゴルフの部が開催され、順位を競いながらホールポストを狙って、クラブを振る参加者の真剣な姿が多く見られました。

クロッケーの部

【優勝】

本宿クラブ B

【準優勝】

千歳会

【第3位】

本宿クラブ A

永寿会 A



本宿クラブ B

ゲートボールの部

【優勝】

豊和チーム

【準優勝】

和楽会チーム

【第3位】

白浜チーム



豊和チーム

ペタンクの部

【優勝】

若海わかば会 B

【準優勝】

両宿長寿会

【第3位】

松寿会 A

長野江寿会



若海わかば会 B

輪投げの部

【優勝】

新田わかば会

【準優勝】

上山老人クラブ A

【第3位】

松寿会

宇崎長寿会



新田わかば会

グラウンドゴルフの部

(敬称略)

【優勝】 堀田 好男

【準優勝】 野原 照江

【第3位】 理崎 なか

【第4位】 野原 享

【第5位】 田辺 位男

【第6位】 中根 三男



なお、各競技上位の選手は、10月11日（水）に行われる第22回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会への出場が予定されています。

この事業は赤い羽根共同募金の配分金により実施しております。



夏の楽しい思い出



のびのびサポート事業

夏休み期間中、玉造保健センターを中心に、ボランティア及び学生のみなさんの協力を得て、10日間の日程でのびのびサポート事業を実施しました。この事業は障害児のストレス軽減・家族のレスパイト（日常的なケアの負担軽減）を目的として実施しており、毎年楽しみに参加して頂いている方、今年度から初めて参加される方など8名の方のお申込みを頂きました。



手作りピザ「おいしかったね」



プール遊びサイコ～！

今年はピザ作りをしたり電車に乗ったりと、楽しい思い出がたくさんできました。

ビックリ・突見・夏キャンプ

毎年行われている夏キャンプが今年も8月1日（火）から8月2日（水）にかけて白浜少年自然の家において開催されました。この事業は市内在中の特別支援学校の生徒、地域活動支援センタードリームハウスの利用者、サークルクレヨン（市内の障害者・児サークル）と土浦市所在のアール医療福祉専門学校の学生を中心にレクリエーションなどを楽しみながら「自立、交流、体験を通じて社会性と協調性を育む」ことをテーマとしています。



暑さに負けずみんな夢中です



笑顔の絶えないキャンプになりました

この事業は赤い羽根共同募金の配分金により実施しております。

いつまでもおいしく健康にたべるために

在宅言語リハビリアドバイス事業研修会のお知らせ

ご自身やご家族にこんなお悩みありませんか？

- ・最近食事でむせるようになった
- ・食べ物飲み物が気管に入ってしまう
- ・飲み込みに時間がかかる
- ・歯みがきが上手にできない
- ・介護食(やわらか食、とろみ食)って何？



健康的に暮らしていくうえで、おいしく安全に食事をすることはとても重要です。飲み込みづらさが重度化すると食事も楽しくなくなり、健康障害を招く恐れもあります。

早めの予防やトレーニングで改善することもできますので、いつまでも美味しくたべられるよう、学んでみませんか？

講師：勝又 綾子 先生（言語聴覚士）

日時：平成29年10月16日（月）

13:30～15:00

会場：行方市玉造保健センター 訓練室（行方市玉造甲478-1）

対象者：飲み込みに不安や悩みをお持ちの方

またはそのご家族、保健・介護・福祉関係者 等

定員：30名（先着順）

申込：平成29年10月6日（金）までに電話・FAXにてお申込みください。

給食サービスボランティア募集

ひとり暮らしの高齢者等を対象に、お弁当を届ける給食サービス事業を行っています。（麻生地区月3回・水曜日 北浦地区月3回・金曜日 玉造地区月3回・木曜日）

そこで、お弁当の調理及び配達に協力していただける方を募集します。

☆活動内容

お弁当の調理・配達（どちらか一方のみの活動でも結構です。）

～地域の方のご協力をお待ちしております～

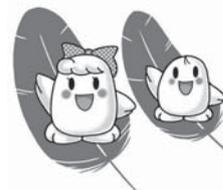




平成29年度 **共同募金運動**

赤い羽根共同募金運動 (10月1日～12月31日)

本年度も10月1日から、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。行方市でも、各地区における戸別募金を始め、街頭募金やイベント募金、そして事業所の協力による募金など、募金運動を展開する予定となっております。また、皆様からお寄せいただいた募金は、行方市のさまざまな地域福祉活動の充実・発展に役立てさせていただきます。



歳末たすけあい募金運動 (12月1日～12月31日)

歳末たすけあい募金運動は、新たな年を迎える時期に、市内に在住する支援を必要としている方々へ家事援助等なサービスを実施しています。

○昨年度歳末たすけあいの様子



窓掃除



草刈り



<お問い合わせ先>

茨城県共同募金会 行方市支会
〒311-3512 茨城県行方市玉造甲403
社会福祉法人行方市社会福祉協議会内
電話 0299(36)2020

ボランティア連絡協議会からのお知らせ

行方ふれあいまつりが、平成29年11月11日(土)12日(日)に開催されます。その中で連絡協議会として、11月11日にバザーを出店いたします。大勢のみなさまのご来場をお待ちしております。

また、行方市ボランティア連絡協議会では会員を募集しています。現在ボランティア活動を行っているグループや個人の方、これからボランティアを始めようとしている方等、研修会や交流等を通して私たちと活動してみませんか。興味のある方はお問合せください。



昨年「行方ふれあいまつり」によるバザーの様子

「あおぞら」の記事に関するお問合せは下記までお願い致します。

☎ 0299(36)2020 FAX 0299(55)4545

皆様からの寄付金・預託金 (順不同・敬称略)



麻生小学校児童会

寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
荒張 高一	20,000	無指定
なめがた湖魔女委員会	7,127	無指定
村上 道夫	20,000	無指定
大野 晃二	30,000	無指定
本戸 政成	20,000	無指定
絆結会 代表 田宮正三	98,854	無指定
鹿行地域労働者福祉協議会 代表 篠塚和弘	10,500	無指定
行方市立麻生小学校児童会	6,000	無指定
森崎 正暁	20,000	無指定
匿名	5,104	無指定

広報委員

委員長 代々城千尋	委員 熊谷 一男
副委員長 森田 幸雄	渋谷 節夫
委員 磯山 正子	菅谷 京子
小貫 敏子	新堀 文江
漢那 浩子	横田 照実

行方市善意銀行

平成29年5月11日から7月31日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介します。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

物品寄付

預託者名	預託品	指定先
後藤 芳夫	車椅子	無指定
匿名	紙おむつ	無指定



絆結会

「己の欲せざる所、人に施すこと勿れ」
これは論語にでてくる文章です。自分が人からされていやな思いをしたり、何かを言われて心が傷ついたりするようなことは、人にはやらない、言わないことだという意味です。不思議なもので自分がいやな思いと覚えることは他の人もそう覚えるものです。少しでも相手のことを思って行動すれば、ぎすぎすした人間関係もいくらかほぐれてくるのではないのでしょうか？
家庭で、職場で、地域社会で思いやりの心を大切に支え合う生活ができたらと思います。

編集後記

小貫敏子

視覚障害など目の不自由な方へ朗読ボランティアの方が朗読した「社協広報紙 あおぞら」や「市報なめがた」をお届けしています。

希望される方は行方市社会福祉協議会へお申込みください。